

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2010/2/1 駐在員 宮村 佐衣子

【デトロイト日本商工会新年会】

1月31日(日)にデトロイト日本商工会(Japan Business Society of Detroit)の新年会に参加させていただきました。この商工会は法人会員数275社、個人会員数49名、登録会員数は1,824名(2009年3月現在)でアメリカでは最大規模の日系商工会です。

在デトロイト日本国総領事館の石川総領事はじめ日米協会デトロイト支部のデニス・アーチャー会長、ミシガン州政府のジル・マーフィー儀典長等の臨席もあり、盛大に開催されました。新年会の後半の抽選会では、滋賀県から賞品として「近江牛」を協賛しPRいたしました。



ミシガンの企業の中にも、滋賀県にゆかりのある人が増えています。

彦根市にあるミシガン州立大学連合日本センター(JCMU)が設立されて20年が経ち、そこで日本語を勉強した卒業生は今では社会人となって様々な業界で活躍されています。昨年、JCMUの同窓生協会が正式に発足しました。滋賀県に留学経験のあるJCMU卒業生と協力することによって、今後、滋賀県とアメリカの経済交流の新たな発展が期待されています。

実際、ミシガンに住むアメリカ人の方から先月、次のようなメールが届きました。

「滋賀ではお世話になったので、もしミシガンで、滋賀県とミシガンの交流にお手伝いできることがあれば協力したい。」

(原文抜粋) I'm interested in helping and participating in any activities to help the bond between Shiga Prefecture and Michigan grow in anyway possible, to help repay my respects for the timeless memories and gift of knowledge and cultural exchange that Shiga has provided me.

その方は、以前、滋賀県の友好親善使節団の団員のホストファミリーをされたことがあり、大学生の時には、彦根市のJCMUに留学し日本語を学ばれたそうです。そして現在は、滋賀県からミシガンに進出している企業で働いておられるそうです。

このように、ミシガン州におられる多くの親日(滋賀)家の存在は、滋賀県にとって大きな資産であると考えられます。